

9月1日 1889年国吉康雄が生まれました。

国吉康雄は、岡山市出石町出身の洋画家で、アメリカを拠点に活躍し国際的名声を博しました。

17歳のときに移民としてシアトル、翌年ロサンゼルスに渡り、就労しながら学校に通いました。そのときに画家になることを勧められたようです。

美術学校に通い、多くの旧友や恩師に恵まれ、その才能を伸ばしていきました。2回のヨーロッパ旅行は画風やモチーフなどに大きな影響を与えたと言われています。

アメリカで才能を認められ始めていた1931年に父親の見舞いのため帰国していますが、日本があまりにも軍国主義になっているのに驚いたと書き残しています。アメリカに戻る船の中で父親の訃報を知り、2年後には母親も亡くし日本とは縁が切れています。

国吉の絵は、一見稚拙とも思える独特の画風と色合いを持っています。中間色の微妙な色使いに対して高い評価を得ています。批評家たちはクニヨシ・ブラウンとかクニヨシ・ホワイトとか名付けて賞賛しています。

民族の坩堝のアメリカで移民として生きた国吉ですが、かの地にあってこそ才能を開花できた気がします。自由な表現と個性を尊重するアメリカの国風は、当時の日本とは大違いだったでしょう。しかし、中間色を巧みに描くところは、日本人ならではの感性かもしれません。

怠惰で虚無的な感じを受けるのも、むしろ弱者に対する慈しみであったり、社会に対する怒りであったりする力強いメッセージのようでもあります。

9月2日 1982年磁気浮上式リニアモーターカーが世界初の有人走行に成功しました。

先日8月29日、山梨県都留市において開催された山梨リニア実験線42.8kmの試験走行が始まりました。国土交通大臣をはじめマスコミ関係者などが時速500kmを体験したというニュースがありましたが、1982年当時は、まだ国鉄で、実験線も宮崎県の日向市でした。

日本でリニアモーターカーの研究が始まったのは1962年です。当時の国鉄が開発を始め、10年後の1972年、浮上走行に成功しています。歴史は古いのに、思いのほか実用化が遅滞しているのは、やはり金銭的な問題でしょうね。

リニアモーターで駆動する磁気浮上式鉄道は海外で「マグレブ」と呼ばれておるそうで、JR東海は2003年に有人試験走行で時速581キロという鉄道としては世界最速を記録しています。

中央リニアが開通すれば、東京ー大阪を約1時間7分で結ぶそうです。そして2027年には東京ー名古屋が開業し、45年には東京ー大阪で開業するそうです。しかし、その8割以上がトンネルになるそうですね。

「狭い日本、そんなに急いでどこへ行く」こんな交通安全の標語がありましたが、飛行機という手段もあるのに、膨大な予算がかかる鉄道にこだわるのは、どうしてなのでしょう。もちろん開発して技術を輸出するという

なら有効ですね。

ところで、宮崎県日向市の実験線では、現在エアロトレインの実験をしているそうです。地上を走る飛行機とみ  
たいなもの？磁気浮上式リニアモーターカーより省エネなのだそうです。さて、50年後の乗り物は、どんなにな  
っているのでしょうか。

9月3日 1868年（慶応4年7月17日）「江戸ヲ称シテ東京ト為スノ詔書」が発せられました。

明治天皇が発した詔勅で、自分（朕）が江戸で政務を執ることと、江戸を東京と改称することを宣言しています。  
そして天皇が江戸城（東京城）に入城し皇居となりました。

ところで江戸を東京と改称する構想は、江戸時代後期にはすでにあっただそうです。徳川幕府が江戸にあり、す  
でに日本の中心として栄えていました。佐藤信淵が『混同秘策』に記しています。

これに影響を受けた大久保利通が、江戸を東京とする意見を提出しましたが、京都の公家の反発が強く『江戸も  
都である』と宣言しました。そこで使われたのが「東京奠都（てんと）」という言葉です。

遷都と奠都の違いは、「奠都」が都を定めるのに対して「遷都」は都を移し古い都を廃止することを意味するのだ  
そうです。つまり「京都」も「東京」も、どちらも都だということ。

そして、面白いことに、日本の首都は東京であると明記した法律はないのだそうです。

そう言えば、国歌、国旗を定めたもの最近のことだし、公用語も日本語と明記はされていないのですよね。「そん  
なこと改めて言わなくても・・・(分っているじゃない)」って感じですかね。そこが日本人のいいところでも  
あるんですけど、はっきり言わなきゃいけないときもありますね。

愛の言葉、感謝の気持ちは、特に、特に！！

9月4日 移民の日（アルゼンチン）

1949年にアルゼンチン政府によって制定されました。

アルゼンチンは19世紀の半ば、国家の西欧化を望み、1853年の憲法第25条、1876年の移民法の制定によって  
ヨーロッパから大勢の移民を受け入れました。

そのため、都市からは黒人が、パンパ大草原やパタゴニア地域からはインディヘナやガウチョが姿を消してい  
きました。1914年には人口のほぼ3割が移民だったそうです。

アルゼンチンの移民と言えば、「母をたずねて三千里」で、イタリア・ジェノヴァに暮らす少年マルコが、アルゼ  
ンチンのブエノスアイレスに出稼ぎに行ったまま音信不通になった母を訪ねる話を思い出します。

TV アニメを見た時は、なぜイタリアからアルゼンチンへ行くのか不思議でしたが、マルコが旅をした1882年

頃のアルゼンチンはヨーロッパ移民を受け入れながら経済発展著しかったこと、逆にイタリアは経済不安で失業率が高かったこと、スペインによって開拓されたアルゼンチンは主宗教がイタリアと同じカソリックだったことなどで、イタリアからの移民が大量に入っていたそうです。

そしてイタリア人がイタリア人を呼ぶことで、1857～1928年の移民の約半数はイタリア人となりました。

しかし、アルゼンチンでは、しだいに増えるイタリア人に不安と苛立ちを持ちスペイン語教育の徹底やスペイン文化の保護政策をとるようになったために、第二次大戦前後は、東欧・ユダヤ・ドイツ人が増えていきました。

もちろん日本人移民もいます。1908年に南米に向かった移民船笠戸丸は太平洋を横断し、ホーン岬を迂回すると、ブエノスアイレスで160人が下船、ブラジル、サントスで620人が下船したそうです。(パナマ運河が開通するのは1914年)

日本外務省の「各国・地域情勢/アルゼンチン」によれば、アルゼンチンでは、欧州系(スペイン・イタリア)の人々が人口の97%先住民系3%と記されています。

移民によって経済を発展させたアルゼンチンですが、先住民が消えてしまいました。ちょっと寂しい気もしますが、移民の日を制定する意義はあるようです。

9月5日 クリーン・コールデー

1992年に通商産業省の呼びかけで、日本鉄鋼連盟・電気事業連合会・日本石炭協会など石炭関係8団体で構成する「クリーン・コールデー実行委員会」が制定しました。

石炭から硫黄や窒素酸化物を取り除き、クリーンエネルギーにする技術開発に取り組んでいることをアピールして、石炭のイメージアップを図ることを目的としています。クリーン(9)・コール(5)の語呂合せです。

しかし、今さら石炭？とってしまいます。化石燃料より再生可能エネルギーの太陽光や風力、バイオマスに注目が集まっています。オーランチオキトリウムなんて言うのも時々聞きます。

同じ化石燃料でも、メタンハイドレートの方が話題になっているようですし・・・。

しかも炭鉱と言えば、ユネスコ「世界記憶遺産」に登録された山本作兵衛の絵のような前時代的なイメージしかないし・・・で、今、日本で石炭は採掘されているのかな？と思って調べてみれば・・・

坑内掘りの炭鉱は日本で唯一存在するのが「釧路コールマイン」。炭鉱マンが約300人働いており、3交代制で年間約55万トンの石炭を採掘し電力会社に供給しています。

最近では原子力発電の停止が続いた上、国産石炭でもコスト競争力をもつようになってきたので、国内で露天掘り炭鉱が次々と開発されているそうです。それを火力発電の燃料に充当しています。

岡山でも水島発電所の2号機は、石炭を燃料にして発電しています。かつて一時、石油に代わったことがあるのですが、石炭に再び代わっています。大体、1次エネルギーの1/4は石炭が占めています。

石炭は、世界中に埋蔵されている上、量も石油他天然ガスに比べ豊富です。日本でも自給可能な燃料なので、いざと言うときのために大切にしなければなりません。そして日本はエネルギーの大部分を輸入に頼っていますから、やはり再生可能エネルギーに期待したいです。

それでも、日本の採掘のノウハウは新興国に輸出されたり、技術習得の研修生を受け入れたりしています。さすが技術大国、ニッポンですね。

9月6日 1919年 帝国美術院が創設されました。

そもそも、帝国美術院は官展である文部省美術展覧会（文展）を開催するために設けられた美術審査委員会を母体としています。

1937年6月に美術のほかに文芸・音楽・演劇・舞踊の分野を加え帝國芸術院と改称し、戦後の1947年12月、新憲法のもとで名称を日本芸術院に変更しました。

日本芸術院というのは、顕著な功績があった芸術家を優遇するための組織で、日本画、洋画、をはじめ16分科に分かれています。会員は定員を120人以内とし一度会員になれば、亡くなるまで会員のままです。

いわば、芸術の殿堂といったところですね。芸術の発達に寄与する活動を行うとともに、芸術に関する重要事項を審議し、これを文部科学大臣又は文化庁長官に意見を述べることができるとされています。

また日本芸術院は、会員以外で卓越した芸術作品を制作した者、及び芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められる者に対して毎年日本芸術院賞を授与しています。またその授賞者の中から恩賜賞が選ばれます。

歴代の会員は、そうそうたる面々。まさに日本を代表する芸術家ばかりです。特に絵画と小説・戯曲の分野は名前の知られた人が多いようです。会員になることは大変名誉なことと考えられますが、何人かは辞退しています。

高村光太郎、内田百閒、大岡昇平、武田泰淳が辞退しています。もし、漫画の部門があつて中沢啓治さんが推挙されたら、辞退したかな・・・と、ちょっと思っていました。

9月7日 1962年西大寺鉄道線がこの日限りで廃止されました。

後樂園～西大寺までの11.4kmをつなぎ「けいべん」として親しまれた西大寺鉄道が51年の歴史に幕を閉じました。1911年に観音（後の西大寺市） - 長岡（後の財田）間（5.5km）が開業し、1日36便 24分を蒸気機関車が運行を始めました。

翌年、長岡～森下間がし、森下～後樂園は1915年にそれぞれ開業しました。当時は原尾島に競馬場があつたそうで、1933年には競馬場駅がつけられました。

小さな車両に大勢の人をのせ、混雑するときには屋根に上がる人までいたり、自転車専用デッキがあったりと、人々の暮らしに根付いた「けいべん」国鉄の赤穂線が開通したことで、競合することを避けて廃業しました。

県庁や一中、そのほか岡山の繁華街に通勤する人、東岡山で国鉄に乗り換える人、また戦後には、東岡山あたりの農家に買出しに行く人、西大寺の会陽に行く人、けいべんは、廃業時まで黒字運用だったそうです。

田んぼの中を走るけいべんの写真は、今からは想像も出来ないものですね。

ところで、けいべんの思い出を掲載しているところに、広谷駅前で猿を飼っていた話がありました。そう言えばおっちゃんの子供の頃、近所の神社で猿を飼っていたのを思い出しました。子供の目線ですから当てになりませんが、結構大きな檻だった気がします。

けいべんの思い出が、なぜか猿の思い出に変わってしまいました。。。。。

9月8日 1930年 3M社がセロハンテープの販売を開始しました。

セロハンを素材とした粘着テープのことですが、「セロテープ」と言えばニチバンの登録商標です。セロハンは、石油精製品と思われるかも知れませんが、木材パルプのセルロースを原料にしたフィルムです。1908年にスイスのブランデンベルガーが発明しました。

セロハンの誕生で、1920年代には、ドーナツやハム、その他多くの商品がきれいなセロハンに包まれて市場をにぎわせていました。特にプレゼントの包み紙として大変喜ばれました。しかし、美しいセロハンで包んだ品物をうまくとめるものがありませんでした。そこで透明で、防水性を持つ粘着テープの開発を進めていたのが、アメリカの3Mのリチャード・G・ドルーでした。

当時、セロハン粘着テープにならないと考えられていましたが、ドルーは試行錯誤の末、ついに透明な糊で粘着剤がついたまま剥がれるセロハンテープを開発しました。今では当たり前のように使っているセロハンテープは「百万ドルの発明」「世界的な一大発明」といわれました。

日本では、セロハンテープに関する実用新案が1928年に、また特許が1933年に登録されましたが、実際にセロハンテープが発売されたのは、1935年のことです。

零戦の塗装のマスキングにも使われていたそうです。しかし、戦争末期にはセロハン原料が入手困難になり、いずれも中断されています。

戦後GHQの要請で、日絆工業株式会社（現在のニチバン株式会社）がセロハンテープを作ることになりました。それが、セロテープのはじまりです。

今のセロハンテープは、品質が向上していますが、昔のテープは、斜めに裂けたり、糊がはみ出してきたりしたものです。セロハンテープで貼ったものは劣化すると変色したりはがれたりするので、長期保存するものには不向きです。

この点、3Mのスコッチテープは値段もいいけれど、品質もよいように思います。

9月9日 1751年（寛延4年7月20日） 上杉鷹山が生まれました。

米沢藩第9代藩主で米沢藩の建て直しに尽力しました。米沢藩の中興の祖といわれ、江戸時代の名君の一人です。

「生せば生る 成さねば生らぬ 何事も 生らぬは人の 生さぬ生りけり」の歌は、鷹山が子息に教訓として詠み与えたものと言われています。

どんなことでも強い意志を持ってやれば、必ずやり遂げることが出来よう。結果が得られないのは、人が為し遂げる意思を持って行動しないからだ。という厳しい教えです。

また家督を譲るときには

一、国家は先祖から子孫に伝えるところの国家であって、自分で身勝手にしてはならない。

一、人民は国家に属している人民であって、自分で勝手にしてはならない。

一、国家と人民のために立てられている君主であって、君主のために立てられている国家や人民ではない。

との3つを伝国の辞としています。

米沢地方では古くから食用を兼ねた垣根としてウコギが利用されているそうですが、上杉の知将、直江兼続公が米沢で栽培を始めたのを、鷹山が垣根にすることを奨励したものだそうです。

食べられる垣根なんて、ちょっと素敵ですね。ちなみにウコギ科の植物には、タラノキ、コシアブラ、ハリギリ、チョウセンニンジン、トチバニンジン、ウドなどがあります。若芽のてんぷらは、多分美味しいことですね。根は薬用に、幹はお酒に利用できたそうです。

米沢市宮坂考古館には、鷹山の人柄をよくあらわしているエピソードを記した手紙が残っているそうです。

それは老婆が書いたものですが、ある日干した稲束の取り入れ作業中に夕立が降りそうで、大慌てしているときに、お侍が手伝ってくれた。御礼にお餅を作って持っていくから住所を尋ねれば、お城の北門に届けてくれればいいと言う。実際そこにお餅を届ければ、なんとお殿様に通されて褒美に銀5枚もらったので、腰が抜けるほどビックリした。という内容だそうです。

黄門様や暴れん坊將軍のように、お忍びで庶民と親しくするお話はたくさんありますが、本当の話として残っているのは、珍しいのではないのでしょうか。

9月10日 下水道の日

1961年下水道整備の促進について 国民の理解と関心を一層深めることを目的とし建設省と厚生省、下水道協会によって「全国下水道促進デー」として制定されました。

その後、21世紀のスタートの年にあたる2001年に、下水道に対する認識がある程度高まったことと、より親しみのある名称とすることで「下水道の日」に変更されました。

9月10日を中心とした前後1週間の間、下水道事業者である地方公共団体によって、いろいろな催しが全国で展開されています。

岡山市では8月22日23日市役所ホールで下水道PR展が催されました。アクリル毛糸のたわし作りや微生物の観察、下水道事業パネル展示などがあり、ゆるキャラのモグリンも参加したようです。

モグリンは、1994年下水道事業推進のためシンボルキャラクターを作成し、市内在校の小学校4年生を対象に名称を募集し命名されました。以後、工事看板、ホームページ、パンフレット等で活用しています。

ところで、24年3月末現在で岡山県の下水道普及率は61.8%で岡山市62.9%・倉敷市73.0%・早島町99.4%などとなっています。ちなみに全国の普及率は75.8%。

下水の汚泥処理は40%が埋め立て処理されていますが、コンポストなど肥料や土壌改良資材として利用されたり、レンガやタイル、セメントの材料などに再資源化されたりと技術開発が進んでいます。

また、汚泥を処理する途中で発生するメタンを主とした消化ガスを利用して発電することも考えられており、自動車の燃料や都市ガスとして供給しているところがあります。下水処理場の広い上部を使って太陽光発電を行っているところもあるようです。

下水道の普及で河川や湖、海水の汚れが防げます。清流に魚やホタルがすめる環境がよみがえります。とはいえ、下水があれば、何を流してもよいかといえば、そうではありません。

油や野菜くず、揮発性の高い薬品などは流してはいけません。合成洗剤もなるべく減らして使うことが望ましいようです。

下水道の普及も然ることながら、汚泥の再利用、そして私たちのマナーも「下水道の日」に改めて考えてみるのもよいでしょうね。

9月11日 1862年 O・ヘンリーが生まれました。

短編小説を得意としたアメリカの小説家で381編の作品を残しています。代表作には『最後の一葉』や『賢者の贈り物』があります。

O・ヘンリーは銀行員時代に横領の嫌疑で起訴され、裁判に向かう途中に逃亡しましたが、妻の危篤を知り帰国しました。保釈金を積んで妻の看病をしましたが、看病の甲斐なく妻が亡くなった後、逮捕されました。

服役中から小説を書き始め、新聞社や雑誌社に送った作品のうち、3作が服役期間中に出版されました。3年で出所しその後亡くなるまでの7年間は、精力的に執筆活動を行っています。

数々の作品の多くは服役中に囚人仲間たちから仕入れた体験談だったと言われています。

O・ヘンリーの作品は掌編小説、短編小説といわれますが、ショートショートとは呼ばれません。アメリカ人で有名なショート・ショートの作家といえばアイザック・アシモフやレイ・ブラッドベリの名前が挙がります。

どうしてなんだろうと思って調べれば、ショートショートは1920年代中頃にアメリカの雑誌『コスモポリタン』で考え出された形式で、確立されたのが1930年代だからです。

ショートショートはただ短い小説というわけではなく、ロバート・オーバー・ファーストの打ち出した三原則「新鮮なアイディア」、「完全なプロット」、「意外な結末」を備えたものを言います。

ショートショートが確立する前に書かれたO・ヘンリーの小説ですが、この三原則を見事に備えています。特に意外な結末、つまりオチの切れ味は、さすがです。

現代のショートショートに比べると優しい感じがして、人生についてちょっと考えさせられたり、ほろっとしたり、ほっこりしたりして、読後の余韻を楽しむことが出来るのですよね。

9月12日 水路記念日

1947年に運輸省水路部(現、海上保安庁海洋情報部)が水路業務について広く理解と協力を求める目的で制定しました。

明治4年7月28日(新暦1871年9月12日)に兵部省海軍部水路局が設置されたことに因みます。当初は7月28日でしたが1971年より9月12日になっています。

水路と言って思い浮かべるのは、用水路や放水路、運河・・・それが海上保安庁とどう結びつくの?って感じですが、ここでいう水路は海・河川・運河などの船舶の通る道、航路のことを言います。

幕末に開国を迫ってきた国々は、航海の安全上必要ということで日本近海を測量し、それぞれ自国の海図にその成果を記入していました。外国人の手によって日本の沿岸が明らかになっていくことに国防上の不安を感じ、自分たちで測量を行い緊急に海図を発行する必要性に迫られていました。

そこで1871年、明治政府は日本沿岸の安全な航海と防衛のための海図を作るために水路局を設置し、長崎海軍伝習所でオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳樽悦を中心として、日本人による近代的な海図作りに取り組みました。



現在は、国土交通省の機関である海上保安庁の海洋情報部がその仕事を引き継いでおり、主な業務は、水路測量・海象観測・天文観測・測地測量等の測量・観測業務、海図・特殊図・海の基本図等の編集・刊行、水路誌・潮汐表・天測暦等の編集・刊行、水路通報の発行などと多岐にわたります。

海図を作成するために必要なのが水路測量で、刻々と変化する海岸や海底の様子を調べることを言います。目に見えない海底の深さや地形などの測定には高度な技術と高い精度が必要です。

その貴重な測量結果は、船の安全な航行のために海上保安庁発行の海図や水路通報などに採用され、海と関わりを持つ多くの人々に有効に利用されています。

ところで、岡山には 1947 年笠岡に水路観測所が設置されました。水路観測所は海図作成の際の測地や海上運航の目安となる天体等の観測を行う施設で、1955 年に倉敷に、1983 年には美星に移転しましたが、2008 年美星水路観測所は閉鎖されました。

美星水路観測所では星食を中心とした天体観測や、月の運びや地球の自転の変動を調べていましたが、近くに開設された美星天文台の観測データを利用することで閉鎖されました。現在は和歌山県勝浦町の下里水路観測所だけが運用されています。

そもそも海軍の業務だった水路部、それが戦後、運輸省（現、国土交通省）の管轄である海上保安庁の仕事になったわけです。

開かれた平和の国、日本を象徴しているようです。しかし尖閣で中国海警局の公船と対峙するのが国土交通省ってどうなの？って気もします……。とにかく大変なお仕事だってことは、よくわかります。

9月13日 1985年スーパーマリオブラザーズが任天堂より発売されました。

日本国内で 681 万本以上、全世界では 4,024 万本以上を売り上げ、「世界一売れたゲーム」としてギネスブックに登録されている、みなさんご存知のファミコンゲームです。

チャチャンチャランラン♪ 小気味よい音楽にのせて、コントローラーを操作し、障害物を飛び越えながら、きのこやらコインやらを獲得するのでしたよね。マリオを飛ばせずに、自分が跳ねたり飛んだりしましたっけ……

スーパーマリオのプロデュース&デザインは宮本茂、現在任天堂の専務取締役です。

入社 3 年目 1980 年に任せられた新しいゲームが「ドンキーコング」、これが世界的なヒットになり、マリオというキャラクターを生み出すきっかけになりました。「ドンキーコング」ははじめ、業務用のゲームとして登場しています。

スーパーマリオのブームは、まさに家庭用ゲーム機を社会現象にしました。是非も大いに論ぜられたものです。その後、多くのマリオシリーズが発売され、それに伴って攻略本なるものも流行しましたね。

2007 年には米国 IGN で「史上最も影響力があったゲーム 100 選」の 1 位に選ばれました。宮本さん自身はスー

スーパーマリオの売り上げを150万本程度と想定していたそうです。ですから世界中で数千万本も売れたのは「完全に運がよかった」と思ったそうです。

キャラクターもかわいいし、音楽も軽快で楽しい、場面によっては、おぞましい感じになったりテンポが変わったりして、ゲームにはまるのが分ります。

今から思えば、テレビにゲーム機をつないで、ロムカセットを入れ替えながら、いろいろなゲームを楽しむなんて、面白いことを考えたものだと思います。

ちなみにファミコンが発売されたのは、1983年。本体と同時発売したゲームソフトは『ポパイ』、『ドンキーコング』、『ドンキーコング Jr.』の3本でした。今やゲームは、確立された1つのジャンルとして認識されていますね。

ま、おっちゃんは子供たちに「ゲームばかりしないで、ちゃんと勉強しなさい」なんて言ってたクチですが・・・

9月14日 1769年 アレクサンダー・フォン・フンボルトが生まれました。

ってか、アレクサンダー・フォン・フンボルトって誰？ って感じなんですけど・・・  
フンボルト、フンボルト・・・聞いたことある・・・って、よくよく考えてみたら！

ペンギン！！！！

アレクサンダー・フォン・フンボルトとペンギンの関係は？！

アレクサンダー・フォン・フンボルトは、プロイセンの博物学者であり探検家であり地理学者です。

18世紀後半から19世紀前半のヨーロッパでナポレオンに次ぐ有名人といわれ、壮大な南米大陸の探検によって博物学の基本を築きました。

地理学、天文学、鉱物学、民族学などに大いなる成果を挙げ、さらに気候学、海洋学の創始者といわれます。地球の磁力の強さが極から赤道に向かって減少することを発見した人です。

幼少時代は病弱だったため、植物、貝殻、昆虫などを収集し標本にすることを趣味にしていたそうです。それが後の博物学者への道につながるのでしょう。

母親は、彼を政治家にさせたいと思っていたので、大学では財政学を専攻しましたが、解剖学、考古学、人類学なども勉強したようです。ジェイムズ・クックの2次航海に参加したゲオルグ・フォスターと交友を持ち、世界を探検したい夢が膨らんだようです。

願いが強ければ希望が叶うのか、その後スペイン首相から後援を得て、中南米のスペイン領の調査に向かうことになりました。このときの、観察や探査の中にペルー沖の海流の調査がありフンボルト海流と命名しました。そ

してこのフンボルト海流付近に棲息するペンギンが、フンボルトペンギンと名付けられたのです。

フンボルトによる中南米の探検は6年の準備期間と5年の歳月をかけて行われたものでした。地形や気象、地磁気などの機器を用いて詳細に測定すると同時に、ゲーテとも交友があった影響からか自然を深く愛好し、自然描写を絵画のように書き記したエッセイも残しています。

チャールズ・ダーウィンに「フンボルトの著書を読んで自分の人生の方向が決まった」と言わせるほどに影響をあたえた人物でした。なんだか、有名な人だったようです・・・なのに、フンボルトペンギンしか知らなかったなんて！

ちなみに、日本で最も飼育数が多いペンギンがフンボルトです。野生の生息数の一割以上を日本の水族館や動物園が飼育している現状です。なぜか日本の様に大量にどんどん増えて飼われている国の方が珍しいのだとか・・・。

9月15日 1835年ビーグル号でチャールズ・ダーウィンがガラパゴス諸島に到達しました。

フンボルトに影響されたチャールズ・ダーウィンが、ガラパゴスを訪れたことで、進化論の着想を得たといわれます。

ビーグル号の航海の後半、1835年9月15日から10月20日まで滞在し、その間初めて精密な地理調査を行いました。その記録を記したものが『ビーグル号航海記』です。

ところで、ダーウィンは、この航海で印象深い点を3つ書き残しています。

一つは南米沿岸を移動すると、生物が少しずつ近縁と思われる種に置き換えられていくこと。

二つめは南米で今は生き残っていない大型の哺乳類化石を発見したこと。

三つ目はガラパゴス諸島の生物の多くが南米のものに酷似していること。

つまり、生物が、それぞれの地域で別々に発生したものではなく、何らかのかかわりや関係を持って、それぞれの場所に適応しながら生きてきたという考えです。

この印象についてなるほどな・・・と思うことは、昨日調べたフンボルトペンギンのことです。フンボルトの生息地の北西にガラパゴスペンギンが棲息し、南下するとマゼランペンギン、隣のアフリカ大陸の南端にケープペンギンが棲息しています。

学者によっては、同じ種類だと主張する人もいますが、この4種は、とてもよく似ています。ペンギンに限らず、他にいくつもダーウィンに感動を与える生物がいたことでしょう。

この航海でケープタウンにも寄港しているので、ケープペンギンも目にしたことでしょうね。

ゾウガメもそのひとつで、諸島のあちこちに様々な変種があり、詳しい者なら違いがすぐに分かるほどだと教えられ、初めてガラパゴス諸島の変種の分布に気づいたそうです。

この時、ダーウィンがガラパゴス諸島から持ち帰ったガラパゴスゾウガメのハリエットは 2006 年まで、実に 175 歳まで生きています。

9 月 16 日 1977 年禁止されていた曲尺・鯨尺の製造販売を許可しました。

1921 年に公布されたメートル法、1959 年に施行、そして 1966 年に尺貫法が禁止され、尺や貫の単位で物や計量器を作ったり、売ったりすることが禁止されました。

そして、1 年以下の懲役若しくは 100 万円以下の罰金が科されると決められました。昔からの慣習で、一向にメートル法が浸透しないことに業を煮やした政府の最終手段だったのでしょうか。

その結果、建築、不動産、和裁など伝統の職人の仕事に大混乱をきたしました。尺ざしが販売されなくなると聞いて、買占めした人がいたとか・・・。

尺貫法の復権運動を始めたのが、永六輔さんでした。きっかけは永さんの知り合いの下町の指物師さんが、お正月に弟子たちに曲尺をお年玉がわりに配ったら、警察に注意されたことを相談したことに始まります。

日本のモノ作りを支えてきた職人の技の基本となる尺貫法を禁止することは職人から職を取り上げることになると、著作やマスメディアを通じて、大いに反対を唱えました。

そうこうするうち、寅さんの映画でも取り上げられ世間の注目が集まりました。もちろん、その他にも反対運動があったのでしょう。とにかく、お上は伝統的な業種においては例外として使ってよいと計量法を若干緩めることになったようです。

おっちゃんも、尺貫法は習ってないし、ほとんど知らないけれど、不動産屋では「何坪？」と聞くし、「お米は 3 合炊いて」と言うし、「部屋の広さは 6 畳」と言った方がピンときますね。

最近ではデジタル時代、尺貫法なんて古臭いだけかもしれませんが、不思議なことに、一方でこうしたレトロな文化が見直されたりしています。案外、若い人には面白い文化に映るかもしれません。残していきたい日本文化です。

9 月 17 日 1969 年 NHK 徳島で全国初のテレビ政見放送が実施されました。

政見放送は、当時参議院議員だった青島幸男が時の総理大臣佐藤栄作に提言して実現した制度です。

参院選の応援の為に日本全国を回ったと得意げに話す佐藤に対して、自分はテレビで知名度があって当選できたから、他の立候補者も放送を通じて政見を述べればよいと答えたと言う逸話が残っています。

「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」（1969 年政令第 228 号）および「政見放送及び経歴放送実施規程」（1969 年 9 月 1 日自治省告示第 139 号）が成立し、9 月 1 日より施行されました。

その適用になったのが 徳島知事選挙で、初めて政見放送が行われたのが9月17日でした。

政見放送が適応されるのは、衆議院議員、参議院議員、県知事です。政見放送では、言論の自由で、基本的には何を話しても構わないそうです。

ただし、政見放送における品位の保持ということで、他人を誹謗中傷したり、特定の商品を宣伝したり、公序良俗に反することは規制されています。

「ユダヤ人が世界支配をもくろんでいる」や「政府は UFO 情報を隠している」といった突拍子もない主張をした者もいたそうです。もちろんノーカットで方法されます。

1度だけ、障害者に対する差別用語とされる言葉をNHKが候補者に無断でカットするという事件がありました。

政見放送は、取り直しがきかないようで、本番1回きり。試し撮りはあるそうですが、本番で言い間違いやカンでも、そのまま放送されてしまいます。厳しいですね。連日の街宣で、準備もままならない人も多いようです。

候補者が思う以上に、政見放送のイメージが投票に結びつくようです。

しかし、これからはインターネットで選挙活動が出来るようになりましたから、TVの政見放送では見られなかった演出が可能になるのでしょうか。有権者も、しっかり見極めていかなければ・・・

9月18日 1971年日清食品が「カップヌードル」を発売しました。

チキンラーメンが発売されてから8年、海外進出を図っていた日清食品の社長、安藤百福は、箸とどんぶりがなくても簡単に食べられるようにすれば、必ずヒットすると考えました。

そのためには、容器とフォークを用意しなければなりません。

機内食で出された、アルミ箔で閉じられたマカデミアナッツの容器を参考に試行錯誤の後、発泡スチロール製のカップヌードル容器を発案しました。

また、容器の形も40種類以上のアイディアの中から片手で持てて、安定感のある紙コップ型に決まりました。

麺の調理方法、フリーズドライの具、容器に入れる方法、金額設定、売り方、デモンストレーションそのどれをとっても、新しい時代を感じさせるものでした。

歩行者天国に集まる若者に、カップヌードルを販売し、ブレイクしました。1個100円という当時としては、かなりの高額に設定してあることも、逆に「ナウい」かったのかもかもしれません。

麻生元総理がカップ麺の金額を400円と言ったことがありましたが、当時は、今400円ぐらいで買う感じだ

ったかもしれません。袋麺が30円程度でしたから。

1972年浅間山荘事件のときに機動隊の人がカップヌードルを食べる姿がテレビ中継に映っていて「あれは何か?!」と売れるようになった逸話は有名です。

世界シェアを伸ばしていくために、その国の食習慣にふさわしい味付け、食べやすさ、品揃えなどを考慮した商品が販売されています。

2011年には、世界80カ国で発売され累計販売数は310億食、また日本国内の累積販売数は200億食を超える、今や世界のカップヌードルとなっています。

9月19日 1991年 アルプス山脈の氷河で、約5300年前の男性のミイラ「アイスマン」が発見されました。

観光客の夫妻によって発見されたミイラは、はじめ通常の遭難者として処理されました。しかし、所持品と思われる品々が見慣れないものであったため考古学者に検証してもらったところ、ヨーロッパの青銅器時代前期の物であることが判明しました。

その後、解凍して調査をした結果、瞳、髪の色は茶色、肌の色は白色、身長160cm、体重50kg、骨からのデータにより年齢47才前後と判明しました。

血液型はO型、乳糖不耐症の因子を持ち牛乳が苦手な腰痛もちだったと推測されています。しかもツボの治療をしていた痕らしい刺青も残っていたそうです。死因は失血死で、矢で怪我をしたところを、石などで後頭部を殴打し、とどめを刺したと考えられています。

胃の中に残っていたものから、肉やパンのようなものを食べていたことや、寄生虫駆除のための薬草を摂取したり、傷の治療にコケを使ったりしていたことなど、当時の暮らしを知るたくさんの手がかりが残されていました。

ところで、最近の温暖化の影響か氷河がだんだん後退しているといわれており、氷河に落ちて亡くなった人の遺骨の発見数が増えているそうです。またアイスマンの時代よりもっと古い時代と考えられる品も発見されているのだとか。

冒険家、植村直己さんは、学生時代に氷河の話を知り、海外の山に行ってみたくて考えたようになったそうです。一度落ちたら助からないとか、長い年月そのまま保存されるとか聞いたことがあります。氷河の流れは天然の冷凍庫、まだまだ不思議なものが眠っている可能性がありますね。

9月20日 1882年 杉本京太が生まれました。

杉本京太は、岡山県出身で、邦文タイプライターを発明し、「日本の発明家十傑」に選ばれました。

岡山県上道郡浮田村杉本貞治氏の長男として生まれの関西中学校、大阪電気通信養成所を卒業し、大阪活版印刷研究所（のちの活版術改良協会）の技術主任として活版事業に携わりました。

欧文タイプライターは、早くから普及していましたが、漢字、ひらがななど文字の種類が多い邦文タイプライターの開発は困難を極めていました。

そんな中で 1915 年日本初の実用的な邦文タイプライターの開発に成功しました。1917 年には邦文タイプライターの製造会社として、今のキヤノンの前身である日本タイプライター株式会社を設立しました。

杉本氏は、文字の使用頻度から 2,400 字を選出し、独自の配列で文字庫に並べた活字を、前後左右に稼働するバーで選択しつまみ上げ、円筒に巻かれた紙に向かって打字するという機構を考え出しました。

この画期的な邦文タイプライターは、瞬く間に官公庁、企業、学校など広く使われ、日本語の書類作成の効率を飛躍的に伸ばしました。ワードプロセッサが普及する 1980 年代まで文書の作成（清書）になくてもならないものでした。

邦文タイプライターは従兄弟の家で何回か見たことがありますが、仕組みが分るほど詳しく見たことがありませんでした。就職する頃には、もうワープロが普及し始めていました。

活字を研究していた人が邦文タイプを開発したわけですが、邦文タイプは 2000 文字の活字が使われていたので重くて、もしひっくり返すようなことがあれば、活字を戻すのに専門家に依頼しなければならないほど難儀な作業だったそうです。

でも、このタイプライターの発見者が 1985 年、特許制度制定百周年を記念して選定された「日本の発明家十傑」ということから、たいした発見だったということなのでしょうね。

9 月 21 日 ファッションショーの日

1927 年 9 月 21 日に、日本で初めてのファッションショーが銀座の三越呉服店で行われたことに由来しています。水谷八重子ら 3 人の有名女優がモデルとなり、一般募集した図柄の着物を披露しました。

ファッションショーは、オートクチュールの祖と呼ばれるシャルル=フレドリック・ウォルトが考案したといわれています。

当時は、客の希望を聞いてから服を仕立てていましたが、ウォルトはまずサンプルを制作し、それを顧客に提示し、注文を受けるというシステムを考え出しました。

その際、マヌカンに服を着せて店内を歩かせたのがファッションショーの始まりだそうです。

シャルル=フレドリック・ウォルトが中心となって 1868 年にフランスに高級仕立て服店の組合、シャンブル・サンディカ(パリ・オートクチュール組合) ができました。

それによって、デザイナーがデザインしたものを客の体に合わせて仕立てて売るという「デザイナー主導」の服作りとなりました。お客は、仕立屋のデザイン、つまり芸術作品を買うことになり、いわゆるデザイナーの社会的地位が大いに高まることになりました。

この組合主催で、年に数回のコレクションを開催しました。こうしてオートクチュールが確立していきました。フランスだけでなく、イタリアをはじめ各国に伝わっていったようです。

その後、高級既製服といわれるプレタポルテが生まれ、プレタでもファッションショーが盛んに行われるようになりました。

そう言えば、以前放送されたNHKの朝ドラ「カーネーション」でもオハラ洋装店で、糸子のデザインした洋服を近所の主婦に着せてファッションショーをしているシーンがありました。

華やかなファッションショーで、美しいモデルたちがランウェイを歩くさまは格好よく、憧れます。自分に似合うかどうかは別問題で、着てみたいと思うのは、今も昔も変わらないのですね。

9月22日 1887年石井十次が日本初の孤児院を創設しました。

石井十次は宮崎県高鍋市の生まれで、医学を学ぶために岡山にやってきました。そこでキリスト教に入信し、1884年には岡山基督教会（現日本基督教団岡山教会）で洗礼を受けました。

このとき洗礼を授けたのが岡山基督教会創設に関わった金森通倫牧師でした。熊本バンドの一人で、新島襄の創設した同志社英学校で学んでいます。「八重の桜」では柄本時生さんが演じていますね。また自民党幹事長の石破茂氏の曾祖父にあたります。話がそれましたが……。

ところで十次は医学生のとくに新島襄の「同志社大学設立趣意書」を読み、新島がアメリカに渡り、苦学したことや国家の盛衰は教育にあると考え、教育を自分の生涯の使命としたことなど深く感動したそうです。このときの感動が、孤児院の運営を決意させたのかもしれない。

医学の勉強をしながら、邑久郡上阿知村(岡山市東区上阿知)の「太田診療所」で代診を務めていたとき、隣には生活に困窮した人たちが寝泊りするような大師堂(現存)があり、巡礼途中で夫に先立たれ困っていた母親から一人の男児を引き取りました。

その後、備前市で物乞いをしている男の子、十次の噂を聞いてやってきた極貧の女性からも男の子を預かり、瞬く間に十次は3人の孤児を預かることになりました。そこで三友寺(岡山市中区門田屋敷)の一角を借りて孤児教育会(後の岡山孤児院)を開くことになりました。

その後の石井十次の偉業は、皆さんの知るところですね。大原孫三郎と交友があり支援をうけていたことは有名ですが、小林富次郎商店（現、ライオン）の支援も忘れることは出来ません。



ライオンでは、社会貢献活動のために「慈善券付ライオン歯磨」を発売し、その収益金の一部を岡山孤児院に寄付していました。

孤児院では最盛期には 1200 人もの孤児を収容しており、寄付金は子供たちが生活するための建物の費用に使われました。十次はコテージ・システム（小舎制）という教育方針を進めていて、保母一人に十数人の子供たちが一つのコテージ（小舎）で、あたかも家族のように生活していたので、建物がたくさん必要だったのですね。

この寄付で建てたコテージはライオン館と名づけられたそうです。「ライオン館」は 1901 年～1910 年までに岡山と茶臼原（宮崎）に合わせて 10 棟が建てられました

中区門田屋敷にある岡山博愛会病院門田屋敷クリニックの玄関前には、石井十次を顕彰する記念碑が建っています。岡山孤児院の一部（小舎制の家屋 1 棟）が新天地育児院の敷地内に移築され、「石井十次記念館」として保存されています。

9 月 23 日 1964 年王貞治が年間 55 本塁打の日本新記録を出しました。

年間 55 本塁打は 2001 年のタフィー・ローズ（大阪近鉄バファローズ）、2002 年のアレックス・カブレラ（西武ライオンズ）と 3 人の保持者がいましたが、今年はずいにウラディミール・バレンティン（東京ヤクルトスワローズ）によって書き換えられました。

9 月 15 日の阪神タイガース戦で、56 号、57 号を打ち、韓国プロ野球の李承燁（当時三星ライオンズ）が持つ、アジア野球記録をも更新しました。この後、どこまで記録が伸びるか気になるところです。

今年は、飛ぶボールになったからだなど、この記録に否定的な意見もあり、王貞治が持つ 55 本という記録は、聖域といわれていたもので、それが 50 年近く破られなかったことは作威だったとも言われています。

四球で敬遠すれば、記録が更新されないけれど、その中でも記録が出せたということは、素晴らしいことではないかと思います。記録は破られるもの、当の王さんも、このバレンティンの記録を歓迎しています。

とはいっても、王さんは通算四球、2390 という日本記録も持っていますが……。ほかにも多くの日本プロ野球記録を持ち、初めて日本の国民栄誉賞を受賞した人物であり、2010 年には文化功労者として顕彰されています。

子供の頃から野球といえば、王、長島。現役にも素晴らしい選手は多いけれども、やっぱり……

9 月 24 日 1877 年西南戦争、城山の戦いで西郷隆盛らが自刃し、西南戦争が終結しました。

22 日放送の「八重の桜」でも西郷隆盛が最期を遂げました。ドラマでは、季節柄彼岸花が象徴的に使われており、政府軍の大山巖が、警視庁の佐川官兵衛や藤田五郎（斎藤一）を抜刀隊に任命する話になっていました。

藤田五郎はともかく佐川官兵衛は抜刀隊ではなかったようですが、西郷軍による抜刀斬り込み攻撃に苦慮した政

府軍が、士族で構成されていた警視隊の中から剣術に秀でた者を選抜して抜刀隊を編成したのは事実のようです。

そして戊辰戦争で賊軍とされた旧会津藩士や旧幕府出身者が多く志願したのも事実のようです。「戊辰の仇、戊辰の仇」と叫びながら斬り込んでいった旧会津藩士がいたそうで、当時郵便報知新聞記者であった犬養毅によって報道されています。朝敵とされた会津の悔しさや恨みは相当だったことが推し量れます。

ところで、抜刀隊の奮戦を外山正一が詩にして「新体詩抄」に発表しました。のちに陸軍軍楽隊教官のフランス人シャルル・ルルーによって曲が作られ、日本で最初の軍歌「抜刀隊」になりました。

「抜刀隊」と同じくルルーによって作曲された「大日本帝国天皇陛下に献ず」と註した「扶桑歌」という二つの曲を編曲し行進曲としたものが陸軍省制定行進曲となりました。

「分列式行進曲」、「観兵式分列行進曲」と呼び名が変わっていますが、現在も陸上自衛隊や抜刀隊ゆかりの警視庁を含む警察庁によって演奏されています。学徒出陣の際、雨の降りしきる明治神宮外苑で演奏されている行進曲としてもおなじみです。

勇壮ではあるものの憂愁でちょっと恐ろしい感じがするのは短調だからというだけでなく、学徒出陣のシーンが思い浮かぶからかもしれません。ま、ともかく、この曲は西南戦争に由来するわけですが、今も演奏されているというのが、すごいです。

9月25日 1890年アメリカのセコイア国立公園が発足しました。

地球上最大の生体、高さ100m、樹齢3000年にも達すると言われるジャイアント・セコイアの森林が密集するセコイア国立公園は、イエローストーン国立公園、マッキナク国立公園（現在は閉鎖）に次ぎ、全米で3番目の国立公園として設立しました。

白人の入植者が、ジャイアント・セコイアを伐採して売買しようとしたのを防ぐために、国立公園に制定されたようです。ジャイアント・セコイアは建築資材には不向きな材質でしたが、それが判明して伐採が止められるまでに何千本もの木が切り倒されたそうです。

アメリカにおける国立公園の歴史は、1803年トーマス・ジェファーソン大統領が、フランスからミシシッピー川周辺の広大な土地（現在の15州、アメリカ中部地区ほぼ全域にあたる）を購入し、この未開の地の調査を始めたことに始まります。

大統領は軍人を集めたルイス・クラーク探検隊を構成し、各地の調査や探検などから、イエローストーンやヨセミテなど、アメリカの各地に存在する自然保護の必要を痛感しました。

そこで、まず1872年にイエローストーンが国立公園に指定されました。1916年には国立公園実施法が制定され、内務省に国立公園局が設置されました。

まだ南北戦争の最中だった時代に、すでに政府関係者が自然の保護について真剣に考えていたなんて、すごい先見の明というべきでしょう。現在では全米に 54 の国立公園があります。

世界の国立公園を見てみれば、1879 年にオーストラリア、1885 年にカナダ、1887 年にニュージーランドでそれぞれ設立されています。日本は 1934 年に瀬戸内海国立公園、雲仙国立公園、霧島国立公園の 3 か所が最初の指定を受けました。

アメリカと日本の国立公園の違いは、アメリカの国立公園はすべて連邦政府の所有する国有財産で、国立公園内では州政府の権限も及びません。国立公園局が自然、動植物、文化財等の保護や利用、そのほか警察・消防などの公共サービス、園内施設の経営管理など、すべての責任を担っています。

またほとんどの国立公園が有料で、ゲートでレンジャーに入園料を支払わなくてはなりません。規模も月とスポンですが、国家予算のかけ方も、担当する公務員の数も、日本の比ではありません。アメリカの国立公園の充実ぶりには驚くばかりです。

## 9月26日 台風の特異日

特異日というのは、理由は分らないものの、なぜかその日には特定の気象現象が起きやすくなるという日のことです。晴れの特異日といえば、1月16日、3月14日、6月1日、11月3日、雨の特異日といえば3月30日、9月12日などがあります。

そして台風の特異日というのものもあるようです。それが9月26日と17日です。9月26日に襲来した台風は1935年 第四艦隊事件。演習中の日本海軍の艦隊が台風遭遇し、大きな損傷を受けました。

1954年 洞爺丸台風（台風15号）が北海道に襲来し青函連絡船「洞爺丸」が転覆しました。死者行方不明者1,155人（史上2番目に死者数の多い台風）

1958年 狩野川台風（台風22号）が静岡県伊豆半島に最接近し、狩野川が氾濫しました。（史上3番目に死者数が多い台風）

1959年 伊勢湾台風（台風15号）が潮岬に上陸、東海地方などを襲い、死者・行方不明者5,000人以上がでました。（昭和の3大台風のひとつ、史上最も死者数の多い台風）

台風の発生数や日本への上陸数は、実は8月の方が多いのですが、9月に日本へ襲来する台風は、8月に比べて勢力が強く、秋雨前線の影響もあって被害が大きくなる傾向があります。

昭和の3大台風や上記の死者の多かった台風は、1940年50年代が多いのは、やはり気象情報が不足していたからでしょうか。治水工事も、不備だったことも考えられます。家もいまほど頑丈ではなかったのかもしれませんが。

最近の台風で、被害が大きかったのは、2011年の台風12号ですね。紀伊半島で大きな被害があり、これは9月の3日襲来し、紀伊半島で100人近い死者・行方不明者が出るなど大きな被害をもたらしました。岡山を通過し

たので県内でも浸水した地域がありました。

ところで、今年 8 月 30 日からは、気象庁が「特別警報」を発表することになりました。これには観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮や、「2011 年台風第 12 号」の豪雨等が該当するそうです。

「特別警報」は、数十年に 1 度しかないような非常に危険な状況のときに発表されるそうです。「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとらなくてはなりません。

ああ〜〜〜そういう状況にはなりたくないものですが、「備えあれば憂いなし」、いざという時のために非常持ち出し袋の用意と避難経路の確認はしておくべきですね。

9 月 27 日 1938 年 クルーズ客船「クイーン・エリザベス号 I」がグラスゴーで進水しました。

世界で最も有名な客船は、クイーン・エリザベス号。キュナード・ラインが所有し、現在は 2010 年 10 月から就航している 3 代目です。

初代のクイーン・エリザベス号はイギリス国王・ジョージ 6 世の妃にちなんで命名され、当初は徴用船として就航していました。大型で高速運航するので、護衛船団なしでも潜水艦から逃れることが出来たようです。

戦後になって、内装外装を大幅改修し、アメリカ、ヨーロッパ間を運航しました。しかし 1950 年代に入ると航空機が大型化し、さらに運賃も下がっていったので、大型客船は採算が合わなくなっていきました。

そこで、キュナード・ラインは、当時所有していたクイーン・エリザベスとクイーンメリーの 2 艘を退役させ、少し小型のクイーン・エリザベス 2 (QE2) を就航させることになりました。1969 年のことです。

初代のクイーン・エリザベスはその後、香港の船会社に売却されましたが、火災を起こして沈没し、その残骸がビクトリア・ハーバーに放置されていました。1974 年『007 黄金銃を持つ男』のロケが行われたのち、解体されました。

クイーン・エリザベス 2 は、「海の女王」として世界中に名を馳せ、クルーズファンから愛されました。一度は乗ってみたい客船として憧れの的、多くのセレブを招き、輝かしい歴史を持ちながら、2008 年 11 月に退役しました。

少し小型だった 2 代目に比べ、大きくなった 3 代目ですが、大きさは初代より少し小さく速度も及びませんが、収容人員数は多く重くなっています。

さて・・・気になるのは、クイーン・エリザベスで旅行したときの費用ですよ。

ギリシャの島々とアドリア海への船旅 15 日間で、最も安いクラスで一人様 448,000 円なり〜。最高クラスで 928,000 円じえじえ。(航空機代は含みません)

「一度は行ってみたい」というか、「一度は言ってみよう」というべきか、下々には、恐れ多くて行きたいとも言えない豪華客船の旅です。

9月28日 1745年 ロンドンのドルリー・レーン王立劇場で「God Save the Queen (King)」が初めて演奏されました。

さて、昨日に続いてクイーンにまつわる話題、そして国歌シリーズ第4弾です。

「God Save the Queen (King)」は、イギリスの国歌として知られており、日本では『女王（国王）陛下万歳』、または、『神よ女王（国王）を護り賜えあり』と呼ばれています。

ニュージーランド、オーストラリア、カナダ、ジャマイカ、ツバルなどでも、国歌として歌われます。リヒテンシュタインでは、同じメロディーに異なった歌詞をつけた国歌になっています。

作詞はヘンリー・ケアリーといわれていますが正式な記録はないようです。また作曲も、国立劇場で演奏した曲は、アーンによって編曲されたものですが、正確なところはよく分かっていないようです。

曲が演奏された背景には、世界史で習った「名誉革命」が関わってきます。歩きながら考えるといわれたイギリス人が世界に名誉ある革命と言わしめたアレです。

しかしながら、高校を卒業してから数十年、すでに名誉革命なんてすっかりお返しした知識でしたので、改めて調べるしかなかったのですが・・・

とにかく、名誉革命で追放されたジェームス2世の孫にあたるチャールズ・ステュアートが、反政府勢力のジャコバイトとともにスコットランドからイングランドに進行し、ロンドンを脅かしていたときに、アーンは君主と国家の安寧を祈って「God Save the Queen (King)」を編曲し演奏会をしたものだそうです。

イギリスでは国歌として法律で決められているわけではないのですが、一般に国歌として広く認知されているものです。連合国の他のウェールズや北アイルランド、スコットランドでは独自の歌を持っているようです。最近では公募によって新しい国歌も作られたようです。

「God Save the Queen (King)」って、どんな曲だったか？と思って youtube を検索してみれば、やっぱり聞いたことがありますね。特に女王の国事行為を報道するときには使われる気がしますので、ウェストミンスター寺院とエリザベス女王の姿を連想させます。

メロディーは賛美歌を思わせ気品がありますし、歌詞は神を賛美しながらも力強さを感じます。女王の国として知られているイギリスですから、この歴史ある国歌はすばらしいと思います。

9月29日 招き猫の日

招き猫が福を招くといわれていることから、「929」を「来る福」と読んで、日本招猫倶楽部が制定しました。

招き猫が右手を挙げていれば金運を招き、左手を挙げていれば人を招くとか、右手を挙げているのはオス、左手はメスとか言われますね。

三毛猫は幸福、白は福、黒や赤は厄除け、魔よけピンクは恋愛など最近では風水がらみで、形も色もいろいろな招き猫があるようです。

招き猫がいつ頃から作られたのか、はっきりしたことは分っていませんが、古くからあるもののようです。中国から連れて来られたネコですが、それと共に「猫面を洗って耳を過ぎれば即ち客到る」というようなことを記した書物も伝わったようです。そんな俗信が招き猫になったのかもしれませんが。

さて、最も有名な招き猫といえば・・・「ひこにゃん」でしょうか？「ひこにゃん」は滋賀県彦根市のゆるキャラですが、その由来は、彦根藩の2代目藩主・井伊直孝に縁のある白猫です。

井伊直孝が鷹狩りの帰りに、にわか雨にあつて豪徳寺（東京都世田谷区）の大木の下で雨宿りをしたそうです。そのとき手招きをする白猫を見て近寄ったところ、直後に大木に雷が落ちました。この白猫のおかげで雷に打たれず命拾いしたと思った直孝は、荒れていた豪徳寺を建て直すための多額の寄進をしたそうです。

この逸話から、彦根にゆかりのある白猫をモデルに「ひこにゃん」が生まれました。また招き猫の由来ともいわれています。彦根にとって、まさに招き猫になったということですね。

9月30日 世界翻訳の日

聖書をラテン語訳したことで知られるヒエロニムスが420年のこの日亡くなったことにちなみます。日本翻訳化協会では、この日に前年度に優れた翻訳書を刊行した翻訳者に「日本翻訳文化賞」の授与式が行われます。

この賞は、日本語を外国語に翻訳した人、外国語を日本語に翻訳した人、両方が対象です。古くは「蜻蛉日記」を翻訳したエドワード・G・サイデンステッカーが授賞しています。

ヒエロニムスは四大ラテン教父のひとりで、まだヘブライ語や、古いラテン語、ギリシャ語で記されていた聖書を、ラテン語に翻訳しました。ラテン語に訳したものは『ヴルガータ』と呼ばれ、従来のラテン語訳より明快で華麗な出来栄えだといわれています。

それまでも、多くの方が翻訳を手がけていますが、聖書全文ではなかったり、誤訳が多かったりして、正しく分かりやすい翻訳が切望されていたようです。ヒエロニムスは語学に非常に堪能な人だったのです。

旧約聖書の創世記11章1－9節には、傲慢になった人間が、バベルの塔を建設しようとしませんが、途中で神が人々の言葉を分けたために、言葉が通じなくなって建設できなくなったことが記されています。

聖書そのものが、多くの言葉で写本されて伝わっていましたが、神様もひどいことをなされたものです。

どうして言葉ってたくさん存在するのでしょうか。世界中がみんな同じ言葉を使っていたとしたら、外国語の勉強をしなくてすむのに。もちろん、いろいろな言葉があることが、地域の人々を結束させたり、際立たせたりするのですけれど。

そう言えば、昨日の「八重の桜」では父の仇と八重を恨んでいた薩摩の娘が、献身的な八重の看病に対して会津の言葉でお礼を言うシーンがありました。相手の言葉を使うことで、相手の懐に飛び込むような印象を与えます。一気に二人の距離が縮まった感じがしました。「ありがとなっし」

難しい外国語の勉強も、世界が狭くなっている現代にとっては必要なことですね。